

環境保全型農業直接支払交付金

みどり戦略推進課

環境保全型農業直接支払交付金について

みどり戦略推進課

1. 概要

環境問題に対する国民の関心が高まる中、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換するとともに、農業分野においても「地球温暖化防止」や「生物多様性保全」に積極的に貢献していくため、環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、直接的な支援を行う事業

平成23年度から国の制度として実施

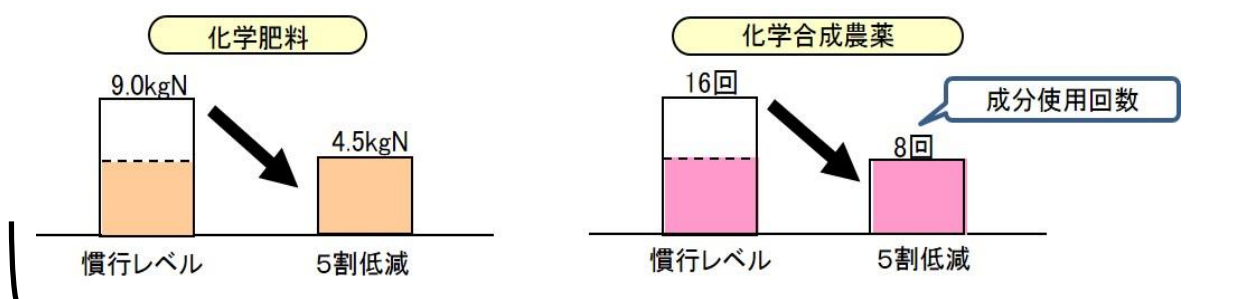
交付金は、国が1/2、県及び市町村がそれぞれ1/4ずつを負担し、農業者に配分

○対象者

農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者（複数の農業者で構成される法人など）

2. 支援の対象となる取組

化学肥料・化学合成農薬の使用を県の慣行レベルから5割以上低減する取組と合わせて行う、「地球温暖化防止」や「生物多様性保全」に効果が高い農業生産活動等



＋ 下表の取組

支援対象の取組	交付単価 (10aあたり 最大/円)
有機農業	12,000
このうち、炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合に限り、2,000円を加算	14,000
そば等雑穀・飼料作物	3,000
堆肥の施用	4,400
カバークロップ	6,000
リビングマルチ	5,400
うち小麦・大麦等	3,200

支援対象の取組	交付単価 (10aあたり 最大/円)
草生栽培	5,000
不耕起播種	3,000
長期中干し	800
秋耕	800
冬期湛水（地域特認）	8,000

【取組拡大加算】

有機農業の新規取組者の受入れ・定着に向けた栽培指導等(交付単価：4,000円/10a)

3. 交付状況

項 目	平 成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度 (見込)	点 検
実施市町村数	13	13	14	12	11	13	12	12	12	11	令和6年度は実施市町村数が前年よりも1件減少したものの、実施件数は1件増加した。 実施面積は、令和2年度からの第2期対策において、有機農業の交付単価が増額したこと等によって増加傾向にあり、令和6年度は過去最大の206haとなった。 交付額についても、単価の高い有機農業の面積拡大に伴い増加しており、令和6年度は過去最高の20,734千円となった。
実施件数	43	42	43	35	29	41	40	42	44	45	
実施面積 (ha)	119	152	177	119	112	146	151	181	196	206	
交付額 (千円)	9,395	11,075	11,463	9,269	8,668	16,066	16,677	19,627	19,779	20,734	

○実施面積上位市町村

順位	平成 30年度	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度 (見込)			点 検
								面積 (ha)	主な取組	
1	小松島市	小松島市	小松島市	小松島市	阿南市	阿南市	阿南市	86	有機農業 秋耕	実施面積の上位市町村は、阿南市、小松島市、阿波市の順となった。 阿南市及び小松島市では、水稻作の有機農業の取組が多く、面積は2市で県内全体の過半を占めている。
2	鳴門市	阿南市	阿南市	阿南市	小松島市	小松島市	小松島市	28	有機農業 秋耕	
3	阿南市	鳴門市	鳴門市	鳴門市	鳴門市	石井町	阿波市	26	有機農業	

○交付額上位市町村

順位	平成 30年度	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度 (見込)			点 検
								交付額 (千円)	主な取組	
1	小松島市	小松島市	小松島市	阿南市	阿南市	阿南市	阿南市	8,403	有機農業 秋耕	交付額の上位市町村は、阿南市、阿波市、小松島市の順となった。 単価の高い有機農業の実施面積が多いことが要因となっている。
2	阿南市	阿南市	阿南市	小松島市	小松島市	小松島市	阿波市	3,350	有機農業	
3	鳴門市	鳴門市	鳴門市	鳴門市	阿波市	阿波市	小松島市	2,646	有機農業 秋耕	

4. 支援対象取組の状況

取組内容	項目	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (見込)	点 検	令和6年度 実施面積 上位市町村
有機農業	実施件数	36	32	34	29	23	34	33	34	38	39	有機農業は、水稻のほか、野菜や果樹で行われている。 <u>令和2年度からは、単価の増額もあって面積が拡大しており、令和6年度は面積・交付額ともに最大となった。本県の実施面積の75%を占めている。</u>	1 阿南市
	実施面積 (ha)	88	99	109	97	87	117	122	139	148	155		2 阿波市
	交付額 (千円)	7,001	7,608	7,850	7,745	6,993	14,139	14,824	16,970	17,906	18,849		3 小松島市
カバークロップ	実施件数	6	6	8	6	7	6	6	8	6	6	<u>カバークロップの取組は、水稻作で多く、近年増加傾向にあり、令和5年度に既取組農家の離農から面積が減少したが、令和6年度には再び取組面積が拡大した。</u>	1 阿南市
	実施面積 (ha)	8	9	12	8	11	14	15	27	14	23		2 吉野川市
	交付額 (千円)	606	743	867	658	919	835	926	1,663	858	1,350		3 石井町
冬期湛水 (地域特認)	実施件数	12	11	10	4	2	2	2	2	2	2	地域特認である冬期湛水の取組は、全て鳴門市のれんこん作において行われた。	1 鳴門市
	実施面積 (ha)	20	36	28	14	13	14	12	12	10	9		2 ー
	交付額 (千円)	1,634	2,379	1,586	866	729	1,056	915	980	822	339		3 ー
秋耕	実施件数	ー	ー	ー	ー	ー	2	2	2	6	6	<u>令和2年度から新たに追加された取組である秋耕は、令和5年度に4件の新規取組があり、実施面積は過去最大となった。令和6年度も昨年度と同様に6件の取組があった。</u>	1 阿南市
	実施面積 (ha)	ー	ー	ー	ー	ー	1	2	1	24	20		2 小松島市
	交付額 (千円)	ー	ー	ー	ー	ー	8	13	11	193	159		3 石井町
堆肥の施用	実施件数	1	1	2	0	1	1	0	0	0	1	近年、堆肥の施用の取組のみで支援を受ける生産者は少なく、令和6年度は1件の実施となっている。 有機農業等の取組に移行したことが要因と考えられる。	1 石井町
	実施面積 (ha)	4	8	27	0	1	1	0	0	0	1		2 ー
	交付額 (千円)	154	345	1,160	0	27	28	0	0	0	36		3 ー

5. 取組に関する課題や今後の取組方向等

(1) 環境保全型農業に関する基本的な考え方

環境保全型農業直接支払交付金は、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献するため、環境保全の効果の高い営農に取り組む農業者を直接的に支援するものである。

本県では、農林水産行政の基本的な指針となる「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画（令和3～6年度）」、みどりの食料システム戦略を展開するに当たっての基本理念や実現方策を県と市町村による一体的な計画として策定した「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画（令和5～9年度）」及びエシカル農業の実践や消費拡大対策をまとめた「徳島県エシカル農業推進計画（令和3～6年度）」において、農業による環境負荷の低減を図ることとしている。

具体的には、環境保全型農業の実践と認証取得の拡大、消費者の認知度向上や消費拡大を推進することとし、令和12年度に耕地面積に占める有機農業の面積を1.5%とする取組目標を掲げている。（令和5年度末時点：有機農業の面積：0.67%（185ha））

(2) 課題と今後の取組方向（推進・拡大のために必要な取組等）

県内の実施面積は、令和2年度の146haから令和6年度には206haと、60ha（約41%）増加しており、当事業を活用した、地球温暖化の防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動が拡大している。第2期における実施面積の増加の主な要因は、交付単価の引上げにより、有機農業の実施面積が増加したことである。

一方、当事業を実施するためには、市町村における事業計画の認定、申請の受付、実施状況の確認など様々な事務が必要であり、業務体制上、新たに事業に取り組んだり、事業の拡大に対応したりすることが困難な市町村がある。

このため、農業者等に対する当事業の周知はもとより、支援対象となり得る農業者等の情報を市町村と共有し、事業の活用を促進するとともに、事務の省力化につながる、農林水産省の電子申請システムの活用を提案するなど、今後とも市町村と連携し、事業を推進していく。